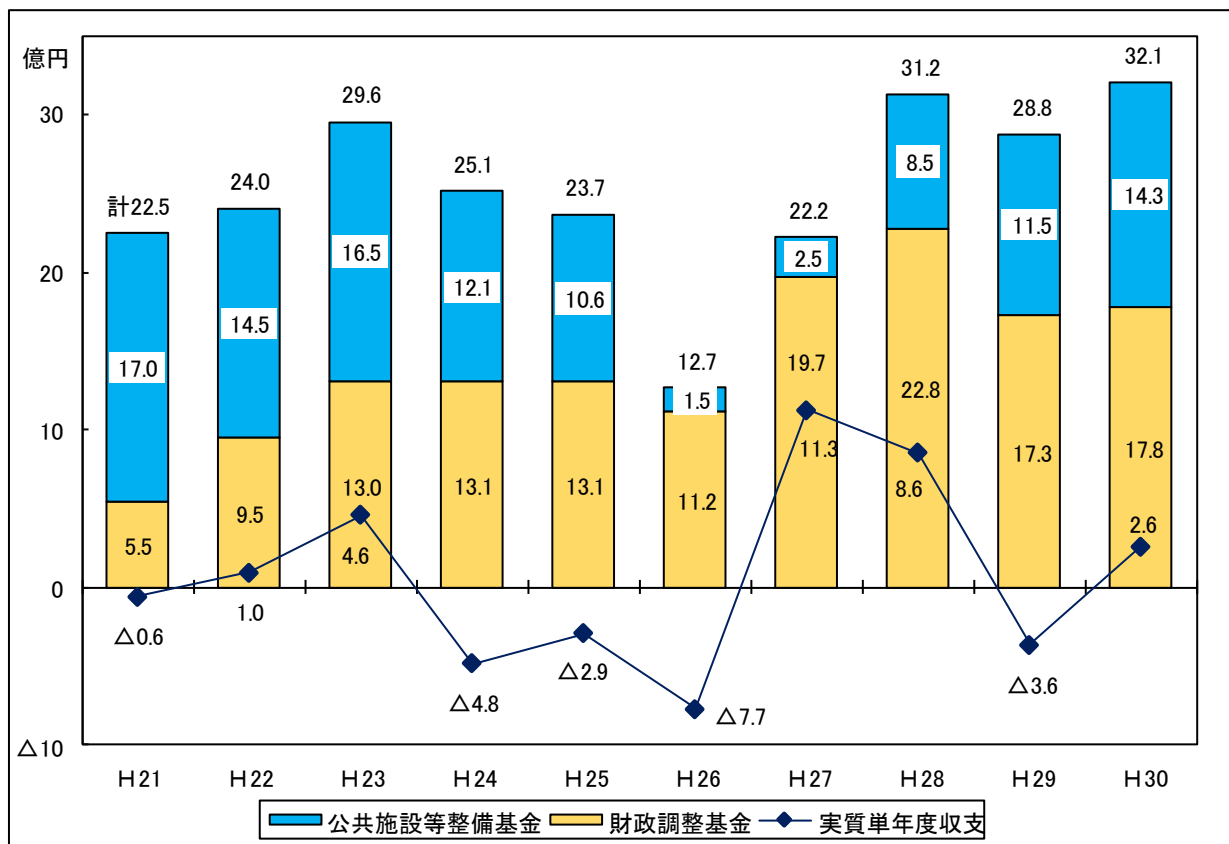


## 本市財政状況の概要

### 1 平成30年度までの収支状況と基金残高



- ◇ 実質単年度収支（下図参照）は、平成26年度に△7.7億円の大幅なマイナスとなり、財政健全化計画（H28.2策定、H28～R2期間）を策定して財政健全化に取り組むこととなった。
- ◇ 平成27年度の実質単年度収支は、財政健全化計画の策定に先行して取り組んだ職員給与の独自減額等の健全化施策の効果があつたことや非常に雪が少なかったことなどから、一転して大幅なプラスとなった。平成28年度も健全化施策の効果等により大幅なプラスとなった。
- ◇ 平成29年度は△3.6億円のマイナスとなったが、市庁舎建替えの決定により市庁舎整備基金に9.1億円を積んだためであり、この積立がなければ5.5億円のプラスとなる。平成30年度も2.6億円のプラスであり、実質的には4年連続のプラスとなっている。
- ◇ 財政調整基金と公共施設等整備基金を合わせた年度間の財源を調整するための基金残高は、平成26年度の財源不足を補てんするため多額の取崩しを行い、13億円を下回るまで減少した。しかし、平成27年度以降は収支が大幅に改善されたため、平成30年度末には約32億円となり、過去最高水準の基金残高を確保している。

実質単年度収支：当該年度だけの実質的な収支バランス（下の図は平成30年度決算）

① 歳入合計380.9億円－（財源調整基金繰入金6.2億円＋前年度繰越金13.0億円）＝当該年度だけの実質的な歳入361.7億円						基金繰入金6.2
市税108.0	地方交付税76.5	国45.5	県27.4	市債37.0	その他67.3	繰越13.0
② 歳出合計368.6億円－（財源調整基金積立金9.5億円＋繰上償還金0.0億円）＝当該年度だけの実質的な歳出359.1億円						翌年繰越12.3
人件費43.5	物件費46.2	扶助費81.2	補助費等48.3	公債費32.7	繰出金42.4	基金積立金9.5
その他64.8 （繰り越すべき財源0.4含む）						
○ 平成30年度の実質単年度収支＝①361.7億円－②359.1億円＝2.6億円						

## 2 今後の財政見通し

表 1 財政見通し (H31.2) における収支の推計

(単位：億円)

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
実質単年度収支	△5.2	△2.0	△1.1	△3.0	△2.1	△4.9	△2.4	0.5	△1.6	0.9	△1.2	△22.1

- ◇ 本年2月に試算した今後の財政見通しでは、市庁舎や市立病院の建替え、統合中学校の整備などの大規模事業実施に伴い財政状況は厳しくなっていくと推計している。
- ◇ 本年度から令和11年度までの収支バランスの累計は、約22億円のマイナスと見込んでいたが、平成30年度末の基金残高が約32億円あるため、この基金を取り崩して財政運営は可能である。
- ◇ 財政見通し作成時点では本年度の収支を5.2億円のマイナスと推計していたが、市税や地方交付税が予想よりも上振れするため、現時点では収支バランスが大きく改善する見込みである。
  - ・ 市 税 当初見込額107.4億円 → 現時点見込額109.3億円 (+1.9億円)
  - ・ 普通交付税 当初見込額 64.9億円 → 現時点見込額 67.8億円 (+2.9億円)

表 2 大規模事業の借入金返済計画

(単位：億円)

借入内容	借入額	返済年数	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①市庁舎建替 (本体等)	50.1	30年 (R31完)	0.5	0.5	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
②市庁舎建替 (解体等)	8.1	10年 (R12完)	0.0	0.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.7
③小中学校空調 設備整備	12.9	10年 (R11完)	0.2	0.3	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	—
④統合中学校 整備	28.0	25年 (R33完)	—	—	—	—	0.2	0.5	0.8	1.1	1.7	1.7	1.8
⑤病院建替 (本体等)	160.3	30年 (R36完)	—	0.0	0.3	0.5	0.6	0.6	0.7	2.0	3.4	3.5	3.5
⑥病院建替 (医療機器)	43.3	5年 (R9完)	—	—	—	0.0	5.4	5.4	5.4	5.4	—	—	—
合 計			0.7	0.9	5.3	5.5	11.2	11.5	11.8	13.4	9.9	10.0	8.2

- ◇ 財政見通しでは、令和12年度以降の推計はしていないが、表2のとおり大規模事業の借入金のうち5年や10年と返済期間の短いものがあり、②と③は令和12年度までに返済が完了する。
- ◇ 財政見通しは国の予算編成の動向や景気の変動等により大きく影響を受けるため、予想値と実績値で相当な乖離が生じる場合もある。このため、毎年度の予算編成時に財政見通しの更新を行い、財源不足額が拡大するようであれば行財政改革の強化や事業の先送りなど必要な措置を講じ、中長期的に健全な財政を維持する方針である。